

科目名：グローバル探究Ⅱ	2年生	2単位	担当者名：小田・藤堂・三好・安福・藪・池内・岡本・秋長
<p>(指導目標と評価の観点)</p> <p><u>(1) 指導目標</u></p> <p>身近なところから世界で起きている諸問題に向かい、地域や世界の文化の違いや人としての在り方について批判的に考えることで、課題を発見し、平和の文化を築くために、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>1. グローバル探究Ⅰの学習をベースにして、多教科連携の横断的な学習や外部講師による講演から、よりよく課題を発見し、解決していくための知識・技能を身に付ける。</p> <p>2. ユネスコ国際教育の理念に基づき、人間の尊厳・平等を尊重し、ESDにまつわるテーマへの知見を深めて、持続可能な社会を実現するための態度を育てる。</p> <p>3. 現代社会の諸問題に主体的に取り組み、その理解と解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。</p> <p><u>(2) 評価の観点</u></p> <p>1. グローバル探究Ⅰで学習したことを活かし、よりよく課題を発見し、解決していくための知識・技能を身に付けることができた。</p> <p>2. ユネスコ国際教育や、ESDの理念を理解し、人間の尊厳や平等を尊重し、持続可能な社会の実現に向けて考えることができる。</p> <p>3. 現代社会の諸問題に主体的に取り組み、探究的なプロセスを通じて、他者に自分の考えを伝えることができる。</p>		<p>(授業内容)</p> <p><u>(1) 探究学習</u></p> <p>「よりよい社会の創造に貢献する」というテーマのもと、SDGs等の現代社会の諸問題に関する学習をベースに、探究活動を進める。</p> <p>【前期】</p> <p>①文献調査を通じて、現代社会の諸問題に気付く。</p> <p>②様々な先行研究等にあたることで、自らの興味分野に多角的に向き合う。</p> <p>③自らの研究テーマを設定し、個人探究を行う。</p> <p>④自らの探究内容に応じた、実地調査や実験等の準備を行う。</p> <p>【後期】</p> <p>⑤実地調査や実験等を行い、成果をまとめて報告する。</p> <p>⑥報告内容を振り返り、探究を修正・発展させる。</p> <p>⑦発展させた探究内容とその成果を、まとめる。</p> <p>⑧成果を高校生国際会議等で発表する。</p> <p>⑨二年間の探究学習を振り返り、今後の自分の生活や学びに生かす。</p>	
<p>(授業方法と評価の方法)</p> <p><u>(1) 授業方法</u></p> <p>参加型・講義型学習、プレゼンテーションや論文など、学習課題に応じて多様な学習・発表形態を用いる。また、多教科等が連携するクロスカリキュラムを取り入れる。</p> <p><u>(2) 評価の方法</u></p> <p>探究への取り組み、提出物の記述、成果物の内容</p> <p>【知識・技能】よりよい社会を創造していく大切さを理解している。考案した実地調査・実験等を、相手や研究内容に応じて、適切かつ正確に実施している。</p> <p>【思考・判断・表現】現代社会の諸課題について、自己の関心をもとに研究内容を設定し、それを検証するための探究方法を考案できる。探究内容に応じて、適切な手段・表現方法を選択したり、適切な情報収集・蓄積をしたりできる。</p> <p>【主体的に取り組む態度】現代社会の諸問題について、他者の研究内容をふまえたうえで、自らが設定した研究内容の特徴を捉え、その研究内容に向き合おうとしている。よりよい社会の実現に貢献しようとしている。</p>		<p>(2) 講演会等からの学び</p> <p>講演会や出前授業等を通して、実社会で問題解決に取り組んでいる方の考え方・姿勢を学ぶ。</p> <p>(3) WWLとの関連</p> <p>他校生や海外の学生との交流・議論を通して、視野を広げ、研究をより意義深いものとする。</p> <p>(教材)</p> <p>・課題研究メソッド 2nd Edition 啓林館</p> <p>・電子版日経新聞</p>	